

「平成27年度水道統計施設・業務編検索システム」におけるPI算出機能の不具合対応表

修正対象PI	発生事象	対応後
B208 給水管の事故割合	算出に必要なとなる「給水管事故件数」が、水道統計の数値から自動算出されず、手入力となっている。	項目コード3910「給水管事故件数（件）」から、数値を自動算出とした。
B306 建設副産物のリサイクル率	算出に必要なとなる「建設副産物量」のうち、水道統計における木材と発生土は、単位がm3であるので、tに換算する必要があるが、考慮されていない。	次の項目に換算係数を乗じた。 ※参考：水道施設設計指針2012 表-1.4.1 材料の単位体積質量 ・項目コード4303「年間再資源化量 建設廃棄物（木材）」に換算係数「0.8」を乗じる。 ・項目コード4304「年間再資源化量 建設発生土（m3）」に換算係数「1.6」を乗じる。
C104 累積欠損金比率	算出に必要なとなる「累積欠損金」について、水道統計の数値から自動算出されているが、マイナス（欠損金）の数値のほか、プラス（剰余金）の数値まで算出対象となっている。	項目コード5535「(エ)当年度未処分利益剰余金、当年度未処理欠損金(△)（千円）」の数値が、マイナスとなっている場合のみを算出対象とし、PI算出画面上に表示される時は、マイナスの符号を削除した状態とした。 なお、水道統計における上記項目の数値がプラス（剰余金）の場合は、算出結果を空欄表示とした。
C112 給水収益に対する企業債残高の割合	算出に必要なとなる「企業債残高」について、水道統計の数値からの自動算出となっているが、「項目コード5555 流動負債の企業債」のみとなっている。	「企業債残高」について、次のとおり算出式を変更。 ・項目コード5546「固定負債の企業債」 + 項目コード5555 「流動負債の企業債」
C115 給水原価	算出に必要なとなる「長期前受金戻入」が、水道統計の数値から自動算出される際、単位換算(千円→円)のために必要となる「数値 × 1000」となっていない。	項目コード5437「(オ)長期前受金戻入(千円)」の数値を自動算出する際、「数値 × 1000」とした。
C204 技術職員率	算出に必要なとなる「技術職員総数」が、水道統計の数値から自動算出されず、手入力となっている。	項目コード0321「職員数 技術職員 計」から、数値を自動算出とした。
C205 水道業務平均経験年数	算出に必要なとなる「全職員の水道業務経験年数」が、水道統計の数値と対応していないのに、自動算出となっている(項目コード0321「職員数 技術職員 計」を設定している)。	「全職員の水道業務経験年数」を手入力に変更。
C302 浄水場第三者委託率	算出に必要なとなる「第三者委託した浄水施設能力」が、水道統計の数値から自動算出されず、手入力となっている。	項目コード3410「第三者委託した浄水施設能力」から、数値を自動算出とした。
C401 広報誌による情報の提供度	算出に必要なとなる「広報誌などの配布部数」が、水道統計の数値と対応していないのに、自動算出となっている(項目コード3410「第三者委託した浄水施設能力」を設定している)。	「広報誌などの配布部数」を手入力に変更。